

## 平成31年度事業計画

### (基本方針)

2019年からの3年間は、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック等ビッグイベントの開催を控え、観光客数の増加が見込まれている。中でも「ISAワールドサーフィンゲームス」は、2020年東京オリンピック出場のための選考大会の1つに位置付けられており、開催地である本県の魅力ある観光資源をアピールする絶好の機会である。

当協会としては、これらのイベントを契機に、宿泊客や観光消費額の増加を図るため、県や市町村、関係機関等と緊密に連携し、県の「観光みやざき未来創造基金」を活用しながら、本県ならではの観光・スポーツ資源を生かした「魅力ある観光地域づくりの推進」、「訪日外国人旅行者の誘客強化」、「国際大会の支援及び新たなスポーツの合宿等の誘致」、及び「みやざきMICEの推進」を重点に、DMOとしての取組を着実に進め、本県の観光振興に取り組む。

#### 〈参考〉

##### ○ゴールデンスポーツイヤーズ

- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| ・2019 ISAワールドサーフィンゲームズ     | 2019年 9月7日～ 9月15日  |
| ・2019 ラグビーワールドカップ          | 2019年 9月20日～11月 2日 |
| ・2019 女子ハンドボール世界選手権大会(熊本県) | 2019年11月30日～12月15日 |
| ・東京2020 オリンピック             | 2020年 7月24日～ 8月 9日 |
| ・東京2020 パラリンピック            | 2020年 8月25日～ 9月 6日 |
| ・ワールドマスターズゲームズ2021 関西      | 2021年 5月14日～5月30日  |

##### ○第35回国民文化祭・第20回全国障害者芸術文化祭 2020年10月17日～12月6日

### (重点事項)

#### ・1 関係機関との連携強化

市町村観光協会や観光関連事業者等と緊密に意見交換等を行い、意識の共有化を図るとともに事業に反映させる。

##### (1) 市町村関連会議

- ・ ① 市町村観光協会会長会議 (5月)
- ② 市町村・市町村観光協会事務担当者会議
- ・ ア 全体会議 (6月)
- イ 地域別会議 (10月～)
- ウ 個別訪問 (随時)

##### (2) 関係事業者等関連会議

- ① 観光関係担当者会議 (5月)
- ② スポーツ関係担当者会議 (6月)
- ③ MICE関係担当者会議 (8月、2月)

##### (3) 会員の集い (1月)

賛助会員を対象に協会事業の紹介や観光関連功労者等の表彰を行う。

## 2 魅力ある観光地域づくりの推進

観光交流人口の拡大が期待される中、本県の知名度を向上させるための誘客プロモーションの展開や地域にある体験・交流型の観光素材を生かした魅力ある観光地域づくり、宮崎らしい素材を生かした旅行商品の造成等に取り組む。

<主な取り組み>

- ・国内誘客プロモーションの展開
- ・魅力ある観光地域「みやざき」づくりの推進

## 3 訪日外国人旅行者の誘客強化

東アジアを重点地域としつつ、欧米豪等の国も対象にしながら、インターネット等を活用した効果的な情報発信や多様な旅行商品の造成等により訪日外国人旅行者の誘客に取り組む。

<主な取り組み>

- ・訪日外国人旅行者のためのワンストップ情報提供
- ・航空会社等と連携した多様な旅行商品の造成・販売
- ・宮崎県多言語コールセンターの設置

## 4 国際大会の支援及び新たなスポーツの合宿等の誘致

スポーツイベントやキャンプ・合宿の「全県化」、「通年化」、「多種目化」の実現に向けて、本県のスポーツ関係者等と連携を図りながら、経済効果の高い国際大会への支援や屋内競技チームなど、新たなスポーツ合宿の誘致に積極的に取り組む。

また、オリンピック・パラリンピックの国内外の代表チームの合宿実現のための視察の受入対応を行う。

<主な取り組み>

- ・国際大会への支援
- ・屋内競技などの新たな種目の合宿誘致
- ・国内外代表チームの視察受入対応

## 5 MICE誘致の更なる強化

MICEアンバサダー（5人）との連携強化による新たな誘致セールス先の開拓とともに、関西地区セールスに重点的に取り組む。

<主な取り組み>

- ・MICEアンバサダーとのさらなる連携強化
- ・関西地区のMICE誘致セールスの強化

## I 観光振興【 149,676 千円】

### 1 観光情報発信・知名度向上の強化 (25,705 千円)

本県の魅力を伝える誘客プロモーションの展開や国内最大級の旅行博への出展等により本県の知名度向上を図るとともに、本県のタイムリーな観光情報を発信・提供する。

#### (1) 本県知名度向上のため誘客プロモーションの展開等

- ・ ツーリズムEXPOジャパン (10月：大阪)
- ・ 「スポーツランドみやざき」の魅力を生かした誘客プロモーション
- ・ (2) リニューアルした宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」を活用した情報発信の充実
- ・ (3) NHK宮崎放送局枠を活用し、県内26市町村と連携したイベント情報等のPR
  - ・ 「NHKニュースイブニング宮崎」での情報発信 年間26回

### 2 魅力ある観光地域「みやざき」づくりの推進 (28,469 千円)

県内を4ブロック(県北、県央、県西、県南)に分け、広域での周遊ルートづくりと体験・交流型観光素材メニューの磨き上げを図り、「宮崎ならではの強み」や世界農業遺産やユネスコエコパーク等の「地域資源ブランド」を生かした魅力ある旅行企画の提案等、商品化に向けた取組を支援する。

- ・ (1) 県北エリア「ひむか共和国クーポン」の流通拡大に向けた取組支援
  - ・ 「ひむか共和国クーポン」を組み込んだ旅行商品を核とした流通戦略の展開(旅行会社との連携等)と商品販売エリアの拡充
  - ・ 同クーポンの効果的な周知と他事業との連携による利用促進の仕組みづくりの構築
- ・ (2) 県北エリア以外における体験・交流型観光素材メニューの商品化への取組支援
- ・ (3) みやざき体験メニュー紹介・予約サイト「me trip」の活用促進
- ・ (4) 観光地域づくり団体支援
  - ・ 地域が主体となって進める新たな観光地づくりについて、地域の認知度向上や誘客促進に繋がり、継続性や地域の連携が図れる取組等を支援する。

### 3 旅行商品造成に向けた取り組み (25,650 千円)

本県への誘客を図るため、旅行会社等が企画する旅行商品に対する支援や観光素材説明会での本県観光PRを行い、宮崎の素材を生かした「新しい宮崎旅行」の造成を支援する。

#### (1) 旅行会社等との連携・造成支援

- ・「長期滞在の旅」など新たなテーマによる旅行商品の造成に対する支援
- ・ インターネット系旅行会社（OTA）を活用し、市町村と連携した誘客プロモーションの展開及び旅行商品の造成に対する支援
- ・「焼酎ノンジョルノ観光」や宮崎の誇る「食」等をテーマにした誘客プロモーションの展開及び旅行商品の造成に対する支援

#### (2) 旅行商品造成のための観光素材等説明会への参加

- ・2019 年下期商品向け（4～5月：東京、名古屋、大阪、広島、福岡）
- ・2020 年上期商品向け（8～10月：東京、名古屋、大阪、福岡）

### 4 教育旅行誘致 (8,174 千円)

行政機関・団体、民間事業者等で構成する宮崎県教育旅行誘致推進協議会において、オールみやざき体制で誘致に取り組み、教育現場のニーズを捉えた誘客プロモーションを展開し、国内外からの教育旅行の誘客を図る。

#### (1) 新たな教育旅行素材の提案

- ・「ひむか共和国クーポン」との連携など、本県ならではの教育旅行素材の発掘・磨き上げを行い、新たな素材として提案・セールス

#### (2) 国内誘致

- ・関西地区をメインターゲットに教職員及び旅行会社等の招請事業を実施
- ・国内主要都市（東京、名古屋、大阪等）での誘致セールスを実施

#### (3) 国外誘致

- ・本県への教育旅行の伸びが著しい台湾をメインターゲットに招請事業及び現地セールスを実施

### 5 東九州広域観光誘客 (6,900 千円)

大分県と設立した東九州広域観光協議会において、両県で連携した共同プロモーションの実施等により、東九州エリアへの誘客を促進する。

#### (1) 共同セールス・誘客プロモーション

## (2) NEXCO西日本との連携

- ・九州周遊ドライブパスとの連携や高速道サービスエリアや道の駅等でのPR事業を実施

## 6 訪日外国人旅行者の誘致推進

(54,778 千円)

訪日外国人旅行者の誘致については、韓国、台湾、香港等東アジア地域を中心に取り組むとともに、欧米豪も対象としながら、インターネット等を活用したプロモーションを強化する。

### (1) 東アジア重点地域からの誘致 [韓国、台湾、香港、中国等]

- ・旅行会社、メディア等の招請によるF I Tの誘客促進
- ・インフルエンサー等を活用した情報発信
- ・宮崎ならではのF I T向け体験メニューの造成販売支援
- ・アジアナ航空と連携した誘客促進 (TVショッピング等)
- ・中華航空と連携した誘客促進 (訪問団等)
- ・台湾における県単独商談会の開催
- ・香港大手旅行社と連携した宮崎ならではの団体型商品の造成販売支援
- ・香港を拠点にしたアクティビティサイト「KLOOK(クルック)」と連携した誘客促進
- ・インターネット系旅行会社 (OTA) 等と連携した中国からの富裕層の誘客促進

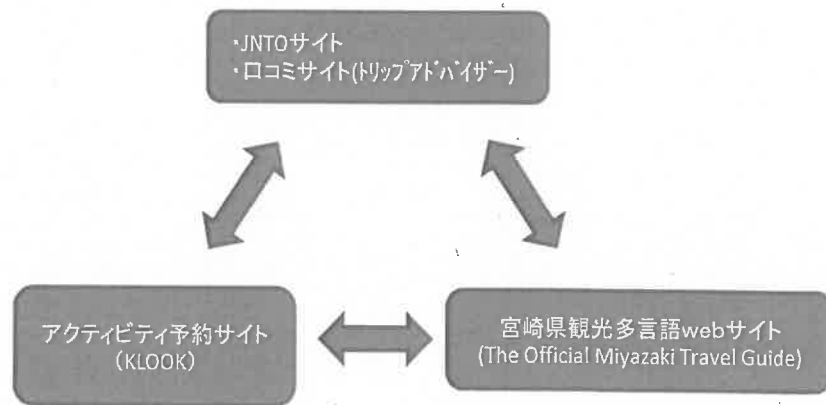
### (2) 訪日外国人旅行者のためのワンストップ情報提供

WEBサイトや旅行サイトなどの多様なチャネルを一元的にリンクさせることにより、観光情報の収集から予約・購入までが容易にできる環境を構築し、訪日外国人旅行者の利便性を図り、誘客につなげる。

- ・日本政府観光局(JNTO)、世界最大級の旅行サイト「トリップアドバイザー」を活用した観光情報の発信
- ・宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」内に設置している外国人専用サイト「The Official Miyazaki Travel Guide(ザ オフィシャルミヤザキトラベルガイド)」の充実
- ・香港を拠点にしたアクティビティサイト「KLOOK(クルック)」と連携した誘客促進 (再掲)
- ・インターネット系旅行会社 (OTA) を活用したプロモーション

・インフルエンサーを活用した情報発信（再掲）

《イメージ》



- ・ (3) 2019年開催のスポーツイベントをきっかけとした誘客の取り組み
  - ・ 航空会社の情報発信チャネルを活用した誘客促進
  - ・ 宮崎ならではの体験メニューや多様な旅行商品の造成・販売支援
  - ・ 英語ガイド付募集型企画旅行商品プラン（日帰り、1泊）の造成支援
  - ・ 来県者のロコミサイト投稿促進による知名度向上
  
- (4) 国・九州観光推進機構等との連携
  - ・ I T F 台北国際旅行博「九州ブース」出展  
（福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・西鉄との連携）
  - ・ スポーツツーリズムを活用した台湾からの誘客事業（九州7県連携）
  - ・ 日本政府観光局JNTO韓国商談会 及び Visit Japan Travel Mart (ビジット・ジャパン・トラベルマート)への参加
  
- (5) クルーズ船誘致
  - ・ 船社、種類（カジュアル、プレミアム、ラグジュアリー）、出発地別の市場動向調査
  - ・ 県内外の関係機関と連携したプロモーション
  
- (6) 宮崎県多言語コールセンターの設置  
訪日外国人旅行者と受入観光施設等との言語サポートを行う。
  - ・ 対応言語数 15言語  
（英語、中国語／北京語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、タガログ語、マレー語、ポルトガル語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロシア語）

## Ⅱ スポーツランド推進【84,265千円】

### 1 スポーツイベント等開催促進 (49,791千円)

国際大会や全国大会など経済効果の高いスポーツイベント等に、開催経費の一部を助成する。

- ・ ・ ポニーリーグアジアパシフィックゾントーナメント及び全国大会（7月）  
※ポニーリーグ：本部を米国に置く少年硬式野球リーグ
- ・ ・ I S Aワールドサーフィンゲームス（9月）  
国際サーフィン連盟（I S A）が主催するサーフィンの世界チャンピオンと国別ランキングを決定する世界選手権。東京オリンピック出場選手選考大会の一つに位置付け
- ・ I T Uトライアスロンワールドカップ宮崎大会（10月）  
※I T U：国際トライアスロン連合
- ・ 第33回青島太平洋マラソン（12月）
- ・ 3大ゴルフトーナメント  
ダンロップフェニックス（11月）、リコーカップ（11月）、  
アクサレディース（3月）

### 2 スポーツキャンプ等受入支援 (18,975千円)

プロ野球やサッカーJリーグ等のプロスポーツチームなどに対する宮崎牛等の県産品贈呈のほか、市町村が行うキャンプ受入歓迎事業等への支援や本県で合宿するアマチュアスポーツ団体に対して合宿経費の一部助成等を行う。

#### (1) 県産品贈呈（主な贈呈先）

- ・ プロ野球、サッカーJリーグ
- ・ ラグビー、トライアスロン、陸上等の国内外代表チーム 等
- ・ (2) 受入歓迎
  - ・ 巨人軍物産展、シャビットバス運行などプロ野球一軍5球団の盛り上げ支援
  - ・ エアポートボールパーク2020開催支援
  - ・ プロ野球選手とファンとのキャッチボールイベントの開催（宮崎球援プロジェクト）
- ・ (3) 受入体制の強化  
Jリーグのトレーニングマッチに係るコーディネート支援や審判講習会の開催によりキャンプ地としての受入体制の強化を図る。

### 3 誘致セールス・PR活動 (15,499千円)

スポーツイベントやキャンプ・合宿の「全県化」、「通年化」、「多種目化に

向けて大学、実業団等を対象に屋内競技を重点的に誘致セールスやセミナーを実施するほか、アウトドアスポーツ等を活用した体験型スポーツの受入環境の整備に取り組む。

- • スポーツ合宿誘致セールス（関東、関西、九州、韓国）
- • 合宿誘致セミナー（関西）
- • • アウトドアスポーツ等を活用した体験型スポーツの受入環境整備  
マリンスポーツや武道等の体験希望者を受け入れるための環境整備に取り組む。
- • プロゴルフトーナメントへの県外観光客の誘致（ゴルフ王国宮崎振興）
  
- 4 東京オリンピック・パラリンピック等受入連携強化  
2019年ラグビーワールドカップの日本代表やイングランド代表の合宿、2020年東京オリンピック・パラリンピックのドイツ陸上連盟の合宿の支援を行うほか、県や関係市町村、競技団体等と連携し、国内外の代表チームの合宿実現のための視察の受入対応を行う。

### Ⅲ MICE推進【59,576千円】

#### 1 MICE推進体制 (611千円)

##### (1) みやざきMICE推進協議会を通じた誘致の推進

協議会と連携した受入体制の拡充や、誘致の機運醸成等を行うべく総会、講演会を開催するなど、官民一体となった誘致を推進する。

##### (2) MICEアンバサダー任命

MICE開催地としてのプレゼンス向上のため、学識・経験があり、専門分野において影響力のある人財をアンバサダーに任命し、本県へのMICE誘致活動を推進する。

##### (3) MICE功労者表彰

本県でのMICE開催に特段の貢献をされた個人・団体を表彰し、MICE誘致の気運の醸成と関係者の意識の向上を図る。

#### 2 MICE誘致 (5,736千円)

##### (1) 個別（国内・国際）誘致セールス

大都市圏の学術会議事務局や大学、企業、さらに県内の大学や各種団体



等への定期訪問をさらに強化する。また、日本政府観光局(JNTO)主催等の国内・国際商談会等に参加し、MICE開催補助金等の説明を行い、MICE誘致を積極的に行う。

## (2) MICEキーパーソン招請

学会関係者等MICE開催地決定に影響力のあるキーパーソンや、インセンティブ旅行等を扱う国内外の旅行業者を招請し、宮崎のMICE施設や観光地等の視察を実施し、開催地決定に繋げる。

## (3) 学術会議等誘致推進懇談会

学術会議等の主催者や大学・企業関係者を対象に誘致推進懇談会を開催し、MICE開催補助金制度などの説明や情報交換会を行い、MICE誘致に繋げる。

# 3 MICE開催支援 (51,858千円)

## (1) MICE開催補助金交付

MICE開催補助金交付要綱の基準を満たす九州規模以上の大会及び訪日インセンティブ旅行取扱エージェント等について、補助金を交付する。

<平成31年度の主なMICE>

- ・日本医療マネジメント学会 第18回九州・山口連合大会  
9月20～21日 参加者 3,000人 延宿泊者 1,400人
- ・日本生物物理学会  
9月24～26日 参加者 3,000人 延宿泊者 2,000人
- ・第46回日本股関節学会学術集会  
10月25～26日 参加者 3,000人 延宿泊者 2,800人
- ・平成31年度全国自治会連合会全国大会宮崎大会  
10月30～31日 参加者 2,000人 延宿泊者 700人
- ・2019飲料メーカー西日本大会  
11月30～12月1日 参加者 2,400人 延宿泊者 1,200人

## (2) その他支援

(1)の開催補助金の交付対象外のMICEについて、歓迎看板設置や郷土芸能披露の支援の他、観光パンフレット、飲食店ガイドマップ等を提供する。

#### 4 広報・企画

(1,371 千円)

##### (1) 広報・宣伝

MICEセールス用パンフレットやHP「旬ナビ」のほか、学会の機関紙等で、“みやざきMICE”の魅力を広く情報発信し、本県のイメージ・ブランドカアップを図る。

##### (2) 調査・企画

MICE推進団体の会議や研修に参加し、職員のMICE業務能力向上、情報収集力を高めるとともに、開催情報の収集・企画等を行う。